



としょかんだより

しもつけ しりつこくぶん じしょうがっこう 夏休み号
下野市立国分寺小学校

夏休みにはどんな本が読みたいですか。朝の涼しいうちに読書をする時間を入れ、落ち着いた気分で1日をスタートさせましょう。夏休みだからこそ、いつもは読めないような長いお話にもチャレンジしてください。読書は、みなさんの知識も心も豊かにしてくれます。さあ、読書の冒険に出かけましょう。

夏休み、よい本に出会ったら、読書感想文を書いてみませんか。読んだ本を、より感動的にするのも効果的です。ぜひチャレンジしてください。

感想文で一番大事なことは、自分の心が動かされたことを、素直に表現していくこと。気負わず、自分なりの言葉で表現してください。次に表現の仕方のポイントを紹介します。ぜひ、参考にしてください。



読書感想文の書き方



① よい本をえらぼう

思いっきり楽しめたり、自分を見つめなおしたり、新しいことを教えられたり……。心を突き動かしてくれる本が「よい本」といえるでしょう。楽しい本、考えさせられる本、新しいことを教えてくれる本……。たくさんの本を読むと、そういう本に出会えます。

② いっしょうけんめい読もう

どこに感動したか、なぜ感動したのかを考えて、一度だけでなく、もう一度読んでみよう。

③ いよいよ 感想文！

(ア) 文の組み立てを考えよう

はじめ—なか—おわりを意識して組み立て表をつくってみよう。



(イ) 書き出しを工夫しよう

(例) ・本を読んだ感動から ・本を読むきっかけを はじめに ・疑問に思ったことから

・同じような経験から ・一番心に残った文を使って ・よびかけから

(ウ) 自分が書きたいことをはっきりさせよう

素直に自分の言葉で表現してみよう。

何にどう感動したのかを、登場人物の心情を中心にみつめてみよう。

事実と筆者の意見とをきちんと区別して書くようにしよう。

自分の経験したことや日頃考えていることと比べて書いてもいいですね。

(エ) 題名の付け方を工夫しよう

自分が一番感動したことなど、中心となる言葉を考えて題名にしよう。

(オ) 結びを工夫しよう



感動が自分にどう影響したのか。本を読んだことがきっかけとなって、自分の考えや思いがどう変わったのかなども書けるといいでしょう。

《読書感想文コンクールについて》

コンクール名	第71回 青少年読書感想文全国コンクール
対象図書	(1) 自由読書 ・自由に選んだ図書 (2) 課題読書 ㊤・ライオンのくんにのネズミ ・ぼくのねこ ポー ・ともだち ・ワレワレはアマガエル ㊦・ふみきりペンギン ・バラクラバ・ボーイ ・たった2℃で…地球の温度上昇がもたらす環境災害 ・ねえねえ、なに見てる？ ㊧・ぼくの色、見つけた！ ・森に帰らなかったカラス ・マナティーがいた夏 ・とびたて！みんなのドラゴン 難病 ALS の先生と日明小合唱部の冒険
本文 字数・書く際の注意	㊤ 800字以内 ㊦ 1200字以内 ㊧ 1200字以内 ・原稿用紙の種類は自由です。(縦書き) ・本文は、<u>原稿用紙の1行目から</u>書きます。 ・原稿用紙の余白にも、<u>題名や名前等を記入しないでください。</u> ・原稿用紙は、<u>一枚ずつ二つ折りにして、右上端をホチキスで留めてください。</u> ・応募票(別紙)は、記入もれが無いように記入し、1番上に<u>クリップで留めてください。</u> ・文字は丁寧に正確に書き、習った漢字を使って書くようにしましょう。 ・かぎカッコや、句読点、行末になった場合の句点(。)の処理等、マスに文字や記号を書く際の注意点に気をつけましょう。 ・<u>はじめ—なか—おわり</u>の大まかな3つの組み立てだけでなく、段落のまとまりに気を付けて、構成を考えて書くようにしましょう。 ・制限文字数内で、できるだけたくさん書くようにしましょう。 ・あらすじのぬき書きに文字数を費やしすぎずに、登場人物の心情や自分の思いについて、詳しく書くようにしましょう。 ・読書によって自分の思い・考えがどう変わったかを、自分の言葉で書くようにしましょう。

